

Lite Friend Association Since 1977



LFA

141 号
2019 年 4 月

最新情報は
HPからどうぞ！
ほぼ毎日更新中♪



光友会ホームページ
<http://www.lfa.jp>



”おじさまたち”による ときめくマジックショー

澤野 亮介

3月4日、希望の郷にお越しいただいたのは、趣味の仲間で結成されたアマチュアマジックサークル「横浜マジック」の皆様です。定年退職した後は、高齢者施設などさまざまな場所で披露されているそうです。“たばこマジック”の第一人者として知られているブラック嶋田氏のお弟子さんもある、お墨付きの本格派。当日は、湘南希望の郷の住人の皆さんと、地域の縁側ご利用の方と合わせて約40名が、希望の郷の食堂に集まりました。聞きなれた曲のイントロが流れてくると、会場は一瞬にして、手品を楽しもうと期待感にあふれた雰囲気になりました。（3面へつづく）

Index - もくじ -

P1 マジックショー | P2 2019 年度の組織と事業計画について | P3-5 事業所だより
P6 コラム あー いえば こー ゆー かい④ | P6 縁側に市長が来所 | P6-7 新人紹介
P7 イキイキチャレンジ活動発表大会について | P8 光友会事業推進協議会だより

2019年度 光友会経営方針について

理事長 五十嵐 紀子

近年の社会福祉に対する議論の的は、制度論から実践論と大きく様変わりし、仕事に対する結果が強く求められる時代となっています。

超高齢社会、少子高齢社会の到来を目前に、より統制が図られ、透明性のある組織として自主・自律的かつ、中長期を見据えた持続可能な安定運営を基盤に、地域共生社会の実現を目的とし、従来に倍して、先駆的な実践活動に取り組むこと、定着してきた障害者差別解消法による、差別・虐待禁止は勿論のこと、質の高い個々のニーズに沿ったサービスを提供することが求められています。

創業以来、理念の中で最高の目標と位置づけた「差別と偏見を除去」した事業運営を展開してきたところですが、2019年の事業計画を立てるにあたり、特に次の項目を重点に、今の時代にふさわしい柔軟性を持って事業運営を実践していきたいと考えています。

1 組織の改革と再編

- ・各業務執行理事の責任体制をより明確にするため、従来の3人体制を6名にする。

2 高いガバナンスと透明性のある財務管理

- ・法令遵守責任者に業務執行理事の1人をあて、さらに副責任者を設けることとする。
- ・S B M (会計専門家) による会計管理を実施し、各事業ごとに財務管理のチェック機能の向上と、業務管理の簡略化を目指す。

3 積極的な広報戦略

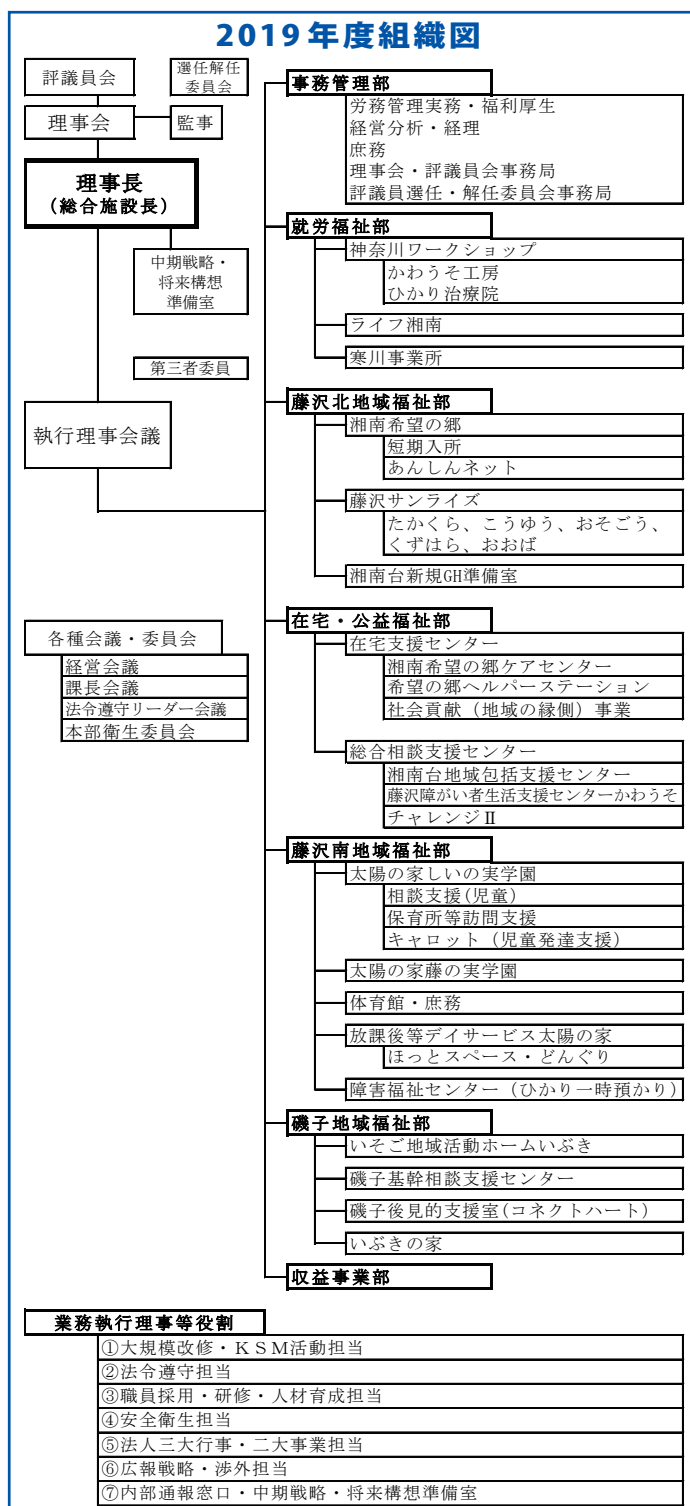
- ・戦略展開の一つとしてホームページの更新をさらに強化する。
- ・法人全体の広報紙（L F A）、各事業所広報紙の進化をさらに進めていく。

4 横断的な協力体制による円滑な業務遂行

- ・各事業所完結型から各事業所間の連携で、より多角的で利用者にとっても、より充実感のあるサービスを展開していく。

5 その他、法人独自活動の推進

- ・すでに15年前からのアジア太平洋障害者リーダー育成（ダスキン貢献事業）研修生の受入れを継続、実施。
- ・地域の方々との交流も目的であるチャリティー寄席、チャリティーコンサートの継続。
- ・各施設利用者の地域生活への移行、地域住民との積極的な交流を目的とする「日中サービス支援型グループホーム」の新設を目指す。
- ・現在から将来を見据えて、今後の障害福祉のあるべき姿を議論し、具体的に必要な事業が展開できることを目指し、プロジェクトチームを新設する。
- ・「いきいきチャレンジ職場改善活動」（P7）も第2クールの最終年にあたるため、各事業所のさらなる努力の成果を求め、それに応える準備を実施する。



(1面のつづき)

“おじさまたち” による ときめくマジックショー

まず手始めに、新聞紙を使った手品を2～3披露し、徐々にレベルアップしていきます。客席を眺めてみると、楽しみ方も様々です。趣味で手品をやっている男性「これはタイミングが難しいんですよ」と、真剣なまなざし。一方では、種を明かしてやろうと言わんばかりに、真横に座って目を凝らしている方もいらっしゃいました。



2人目のマジシャンは、ボールを使ったマジック。「今からこのボールを筒に入れますのでよく見ていてくださいね」「んー、、、、、、（思ったより長い間）、、、、、 ハイ！成功しましたー！」会場からは拍手！と同時に、何故かお互いにほっとしたような雰囲気もあって・・・これは、これで面白い。

4人それぞれに持ち味の違うマジックが披露され、最後は毛糸を使った参加型のマジックです。「最後は皆さんも参加してくださいね！」白と赤の毛糸が取り出されました。「こういう風につまんで、、、引っ張ってみてください。」「はい！どうですか？」すると、固く結んだはずの紐がするっと解けました。みなさん笑顔でとても楽しいひと時となりました。

事業所だより**湘南希望の郷****春の風物詩 エンジェルスコンサート**

山崎 千夏

3月3日、エンジェルスコンサートが開催されました。今年は新しい入居者の東直和さんが好きなディズニーの曲に合わせ、楽器を持った入居者の方が食堂内を行進し大いに盛り上がりました。

毎年入居者のリクエストに応じて演奏して下さるエンジェルのボランティアさん、本当にありがとうございます！

**寒川事業所**

**ご来店お待ちしております！
季節限定メニュー続々登場！**

加藤 亮郎

寒川まち食堂では、四季折々の限定メニューを提供しています。春のおすすめとして「桜そば定食」を販売。桜風味のそばと、桜えびのクリームコロッケを堪能していただきました。現在、夏に向けた限定メニューを利用者・職員間で話し合いながら開発中です。ご期待ください！

**神奈川ワークショップ****木曜日の風景**

重野 友希

毎週木曜日、勤務時間後の食堂には将棋好きの利用者さんが集まります。この春に養護学校を卒業したばかりの室伏さんは、歳の離れた先輩にアドバイスをしながらゲームを楽しむという腕前の持ち主。大物新人の登場です！



ピアノが趣味の有田さんは、木曜日だけ食堂のピアノで練習をしてから帰宅します。廊下まで響くノスタルジックな音色に、職員はふと癒されるのでした。

事業所だより

ライフ湘南

卒業生インタビュー

福田 友行

昨年12月にライフ湘南を卒業した門田さんが顔を出してくれました。そこで、マクドナルドに就職してからの変化についてお聴きしました。

①良かったこと

お給料が劇的に増えました！なので、ある程度自由に使えるお金が増えて、500円貯金をし、SONYのウォークマンを購入しましたあ！！

②大変だったこと

初めの頃は、コミュニケーションが上手くできず、困った時に聞くことが出来なかったり、他のクルー（従業員）同士の会話に入っていけなかったりしたことがありました。でも、今はそんな不安も解消され、仕事の内容も増えて、とてもやりがいを感じています。

帰りに、次年度のライフ湘南のカレンダーを持ち帰られました。ぜひ予定を合わせて遊びに来てくださーい！



放課後児童デイサービス おそごう

BBQで思い出づくり

丸山 和良

児童デイサービスおそごうは、3月31日をもって幕を降ろしました。

そこで、3月の最後の1週間は、皆でバーベキューを行いました。天候にも恵まれ、春の心地よい陽気の中、子供たちも元気に準備からお手伝いをし、自分で焼いたお肉をおいしそうにほおばっていました。これまでご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



総合相談支援センター

心のバリアフリー講習会

高橋 昌弘

1月26日、藤沢市 心のバリアフリー講習会を開催し、「自立生活センター 自立の魂～略してじりたま！～」の当事者スタッフ小野和佳氏に、「障がいのある方がみんなと同じく自分らしく生活するために」という内容でお話いただきました。「障害者だから（困っているであろうから）声をかける。」ではなく、本当に困っている部分に着目して声をかけることが大事であることが分かりました。



後半のシンポジウムでは、市内で障がい者を支援している3つの機関の職員を交えたディスカッションを行ない、講演の内容を深めたうえで「心のバリアフリーのために何が必要なのか」という話がされました。障がい当事者の方・ご家族・福祉関係職員等々 72名の参加者にとって、それぞれの立場で“心のバリアフリー”を考える良い機会になりました。

事業所だより

藤沢市太陽の家 しいの実学園

社会体験に行ってきました！

大竹 有希

各クラスのお子さんの状態に合わせ、社会体験を目的に、親子で参加する園外活動を取り入れています。時期や場所、交通手段など、各クラス担任が話し合って実施しました。写真のクラスは「大和市市民交流拠点ポラリス」に電車に乗って行きました。初めて電車に乗る親子もいたため、あらかじめ親子で手を繋いで歩く事や電車に乗る練習をするなど、準備には様々な工夫をしました。

このような積み重ねもあり、親子で楽しく過ごす事ができました。



藤沢市太陽の家 藤の実学園

パン工場見学に行ってきました！

松本 千弥

2月8日、「お出かけツアー」で相模原にある「オギノパン本社工場」に行ってきた。見学ではパンの製造工程を皆さん興味津々に見ていらっやいました。揚げパン・あんぱんをはじめ、様々な種類のパンの中からご自分の好きなパンを選んで、お土産を購入しました。

工場見学後は、近くにある「県立あいかわ公園」で散策した後、昼食は地元で有名な「かつ心」にてヒレカツ定食を食べました。公園やバスの車窓からの景色も良く、心もお腹も満たされた1日となりました。



いそご地域活動ホーム いぶき

人財育成

森 淳

いぶきでは、毎年様々な研修を開催しています。2018年度は、「個人情報保護」、「安全運転研修」、「感染症予防」等の研修を内部職員向けに実施しました。

また、「磯子区連携事業 支援力充実事業」として、1年間を通して区内事業所所属の職員研修会も開催しました。内容は、「ダウン症の退行」や「医療的ケアの理解」、「発達障害」、「障害者虐待防止と身体拘束廃止について」、「アセスメントの基本」等、計6回開催し、いぶき職員も含めて延べ206名程の支援者が参加してくれました。

このように、いぶきのみならず、地域における支援体制の充実を図っています。さらに、この4月から横浜市9区で始まる「地域生活支援拠点」という機能の一翼を担っていきます。



あーいえば こーゆーかい

41

理事長 五十嵐 紀子

春がきた

今年も又寒い季節が終わり、春が到来した。

今年は、とうとう積雪に合わずに冬が終わった様で、未だ3月というのに20度という気温が発表されたりしている。

さて、春と言えば桜。最近出勤途中で見える富士山の美しいこと。これに桜が加われば、私達日本に住む人達だけが味わう事の出来る最高の心と風景である。

当法人の庭の桜も4月1日の辞令交付式を迎える頃、咲き始め、真っ盛り、散りかけと桜と共に新年度を心機一転迎えるのであるが、今年は3月中旬を迎えて未だ開花していない。

但し、数年前に戴いた「香りのする桜」珍しい品種の一本が満開となっている。これは、視覚障

害の方にも桜を体感して欲しいと贈られたものである。

話は変わるが、過日、箱根に忙しい時間の合間に出かけてきた。その旅の中でお聞きしたのであるが、桜の種類は実に二百数十種に及ぶという。早咲きの代表は、“河津桜”。これは、2月頃から咲始める種類。そして、一番私達になじんでいるのが、“ソメイ吉野”。そして、八重桜等と身の回りでよく見る事ができる。しかし、話の中で登場した“オカメ桜”の名を聞いてビックリ。

大昔から日本人の美人の代名詞が“オカメ”であった事は別にして、桜の花に迄“オカメ”の呼称があったとは。

中々身近に見る事は出来ないが、忙しい日常の中、時間を作って植物図鑑でも開いて見たいと思う。

それとも植物に詳しい博士がおられたら、是非どんな花を咲かせる種なのか、教えていただけませんか？

暫くの間、北上する桜前線の話に花を咲かせて、この季節を楽しんで過ごしましょう。

鈴木市長が 来所されました

2月4日～19日、切り絵作家 椎野勝さん（神奈川ワークショップ利用者）の個展を「かわうそギャラリー」にて開催しました。



新人紹介

- ①今夢中になっている事
②実は私は〇〇なんです。or 〇〇だったんです。

神奈川ワークショップ

室町 辰雄

- ①私の草野球チームが
全国大会へ出場する
②こう見えて虫嫌いな
んです



神奈川ワークショップ

柳川 正美

- ①私は多趣味なんです
が今一番は御朱印です
②ミステリー小説が好
きなんです



湘南希望の郷

水上 希代美

- ①野球観戦。ベ이스ター
ズを応援しています！
②スポーツ全般好きなん
です



湘南希望の郷

芳賀 美奈子

- ①旅番組と名探偵コナン
を見る事
②右腕筋肉すごいんです



湘南希望の郷

中川 秀治

- ①子どもと一緒に遊ぶこと
- ②生まれは京都なんです



湘南希望の郷

中須 竜弥

- ①レディーボーデンストロベリー味に夢中
- ②有名な鯛焼屋だったんです



湘南台地域包括支援センター

大西 剛

- ①ストレッチなど健康体操を入念に行います
- ②老眼なんです…



湘南台地域包括支援センター

佐久間 実花

- ①週5日勤務生活に慣れることしか…
- ②福●雅●の大ファン♡なんです



しいの実学園

萩原 清正

- ①自転車のメンテナンスをよくしています
- ②太ももが太めなんです



しいの実学園

小原 静

- ①美味しいお酒探し
- ②収集癖持ちなんです



藤の実学園

千田 優夏

- ①海外旅行のために英語を勉強すること
- ②辛いもの大好きなんです



藤の実学園

山口 雅史

- ①ガンダムなどのロボット系のプラモ作り
- ②甘い物好きな甘党なんです



放課後等デイサービス太陽の家

河合 佳名子

- ①真冬以外サーフィンで海に入ります
- ②シェパード飼ってます



イキイキチャレンジ活動発表大会

一杉 好一

第5回目（2018年度）のイキイキチャレンジ活動発表大会が、2月16日に実施されました。第2ステージの活動の中間点での意識変化として「気がつくから気になる」が求められ、それぞれの職場の発表では、そうした変化が現れたものとなりました。

今回は、8チームがエントリーし、発表会当日は抽選によって発表順を決めるなど工夫がされて、発表者も初回と比較すると大幅に向上していることが実感できました。

審査については、今回も、イキイキ大賞（理事長）、KSM大賞（審査員）、チャレンジ大賞（投票）の3つの賞を事前審査から当日の参加者による投票まで多くの職員、役員、家族会役員などが関わりながら

選定されました。要するに活動も全員、審査も全員参加型の中で和気あいあいと行われ、盛り上がりを感じました。

イキイキ大賞は「湘南希望の郷ケアセンター」と「いそご地域活動ホームいぶぎ」が受賞し、KSM大賞は「藤の実学園」が、当日賞となるチャレンジ大賞は「ライフ湘南」がそれぞれ受賞しました。2019年度は第2ステージの最終年度の活動になります。職員の意識変化は当初の目標に近づいてきていると思いますが、もう一度、自己点検してみてもいかがでしょうか？職場改善活動が「利用者の皆さん」への、大きなプレゼント（サービスの向上）となることを期待しています。



・・・ 光友会事業推進協議会だより ・・・

2019年度代議員会（総会）のお知らせ

彩り豊かな花々に春一杯を感じるこの頃です。皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

光友会を応援し、支えていく推進協代議員会（総会）を下記のように開催いたします。

お忙しいなか、万障お繰り合わせのうえ、是非、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

日 時 2019年5月18日（土）午前10時00分～11時30分

場 所 湘南希望の郷 地域交流ホームかわうそ1階ホール

議 案 2018年度事業・決算報告

2019年度事業計画・予算案 他

その他 ☆2018年度第5回『イキイキチャレンジ活動発表大会』表彰
湘南希望の郷ケアセンター「高次脳機能障害のDさんが来て・・・」発表

○午後には、職員・利用者・家族との懇談会が予定されています。

（「地域の縁側 かわうそ」にて、休憩ができます。）

『とてもためになりました。分かりやすかった。心打たれました。』（アンケートより）

2月28日、60人近い人が集い、推進協主催『障害のある方とご家族のための「成年後見制度勉強会」～知っておきたい将来への備え～』大島正寿弁護士によるご講演と当事者・家族・職員によるシンポジウムが行われ、参加者のアンケートにも評判の良いご意見が多数ありました。2019年度でも、上記アンケートで書かれた「次回関心テーマ・ご意見」などを参考にしたイベントを計画したいと思います。（M）

会費納入と新会員加入をお願いいたします。

1口 2,000円

□座番号 00260-2-49486（赤色郵便振込用紙）

□座名義 光友会事業推進協議会

*会費納入状況（3/4 現在）：1,132,500円（299名）

お問い合わせ：0466-48-1500（担当 本谷）



編集後記

30年続いた「平成」という一つの時代が終わります。時代の区切りに立ち会うことは何かがすぐに大きく変わることではないかもしれませんが。しかしこのことを機会ととらえて、気持ちを新たに、前に進んでいく切っ掛けにしてみようと考えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。また、東京オリンピックを筆頭に、世界から注目を集めるイベントも開催されます。大きく躍進する時代に存在感を示せるような取り組みをしていきたいものです。（T.M.）

編集委員（所属は2019.3.31）

五十嵐理事長、森（総括管理部）、井地・福田・山田・阿部（就労福祉部）、村井・丸山（藤沢北地域福祉部）、松井・大貫（在宅福祉部）、松本・大竹（藤沢南地域福祉部）、溝渕（磯子地域福祉部）

なお、本誌掲載の写真につきましては、本人、家族、又は団体等の了解を得ています。

季刊 LFA 第141号

発行日 2019年4月

発行 光友会

責任者 理事長 五十嵐 紀子

発行所 〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008-1

社会福祉法人 光友会

電話 0466-48-1500

印刷所 光友会 神奈川ワークショップ